（株）小田組　令和2年度小田川箭田地区外第１堤防強化工事

国土交通省

推薦事務所	高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所
工期	令和2年12月26日～ 令和4年3月31日
施工場所	岡山県倉敷市真備町箭田地先
請負代金額	477,136千円
業者名	株式会社 小田組

【工事等概要】

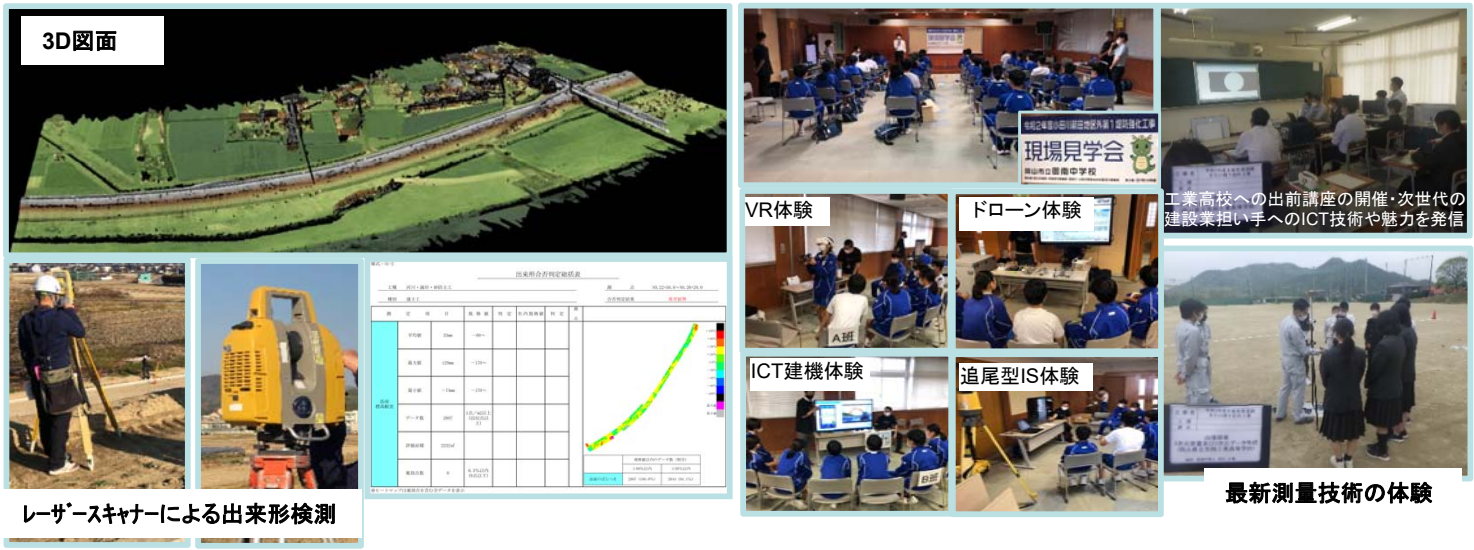
施工延長　L＝1,715m

・河川土工　掘削工 V=590m3
　盛土工 V=46,000m3
　法面整形工 A=19,000m2
・法覆護岸工 大型ブロック積 A=1,941m2
・堤脚保護工　１式
・付帯道路工　１式
・光ケーブル配管工１式
・構造物撤去工　１式
・仮設工１式

・3DMCﾊﾞｯｸﾎｳによる施工・追尾型TS、電子野帳による検測

・GNSSローバーを使用した測量と搬出土量の算出・社内研修会

・UAVによる起工測量と3D図面・ﾚｰｻﾞｰｽｷｬﾅｰによる出来形検測　・現場見学会開催、地元高校生への出前講座開催



○　真備緊急治水対策プロジェクトの内、小田川の堤防強化（堤防拡幅）を行った工事であり、他工事で発生した河道掘削残土を築堤材として使用し堤防拡幅を実施した。その掘削残土は仮置き場にストックされ、複数の堤防強化工事で築堤材として使用することとなっていたが、各工事の進捗に伴い日々増減する仮置き場の土量把握が重要であった。当工事では、自社が所有するUAV、GNSSローバー、３次元点群処理ソフトを利用し、自社職員自らが築堤材の残数量の把握を行った。従来手法では、1回当りの作業は各工事の残土搬出入作業を中断し、3人編成で約１日を要していたが、工事の中断を伴わず、かつ1人作業で約２時間の作業となった。

○　当現場において県内中学生を迎えて「現場見学会」を開催し、VR体験・ICT建機・UAVなど最新技術をリアルに体験していただき建設業への関心を高め、ICT普及に努めた。また、地元の工業高校への出前講座を開催し、次世代の建設業の担い手である高校生に実体験を交えてICT技術や建設業の魅力を発信し次世代の担い手確保に努めた。